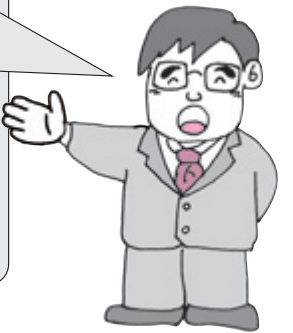


下水道の役割

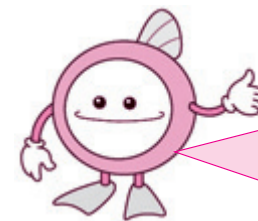
よごれた水をきれいにするしくみ



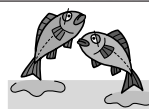
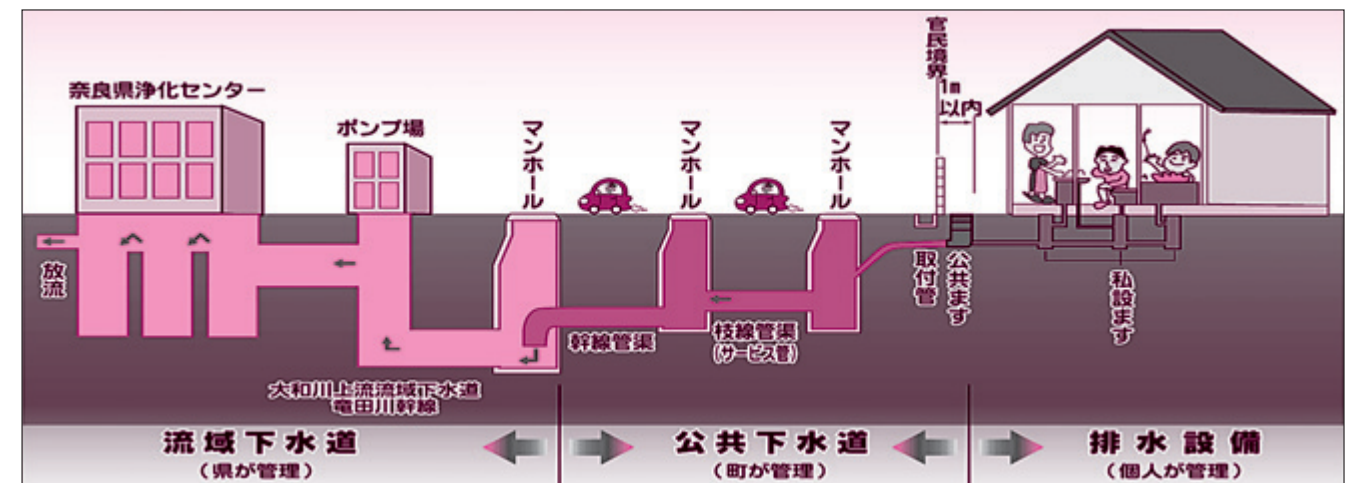
こんにちは、まちの下水道担当者「きよみず ゆたか」です。
 まちの下水道整備は、どんどん進んでいます。
 今月号は、もっとまちの下水道について知っていただくため、下水道マスコットキャラクターの「スイスイ」くんに来てもらい、下水道の役割について教えてもらうことにしました。
 それでは、スイスイくんよろしくお祈りします。



は〜い！こんにちは、下水道マスコットキャラクターの「スイスイ」です。
 ほくは、日本中みなさんに、下水道についてたくさん知っていただくために生まれました。
 今日は、斑鳩町みなさんに、下水道について知ってもらうためのお手伝いに、やってきました。
 それでは、早速ですが、下水道の役割のなかでも大切な「汚れた水がきれいになるまでのしくみ」について紹介します。



〈家庭から奈良県浄化センターまでの汚水の流れ〉



美しい水辺の環境を守る下水道

家庭から出た汚れた水は、下水道を通して、安堵町の中継ポンプでくみ上げられ、大和郡山市の奈良県浄化センターで微生物などを使ってきれいな水になるんですね。



排水設備工事をすると、台所やお風呂の雑排水やトイレの汚水は、町が設置した公共管から、道路に埋設してある下水道管へと流れていきます。下水道管は、汚れた水が、高いところから低いところへ自然に流れるようにつくられていて、安堵町へと流れていきます。
 そして、安堵町の中継ポンプでくみ上げられ、大和郡山市にある県の浄化センターへと流れていきます。
 浄化センターでは、微生物などを使って水をきれいにし、大和川に放流します。そして、きれいな水は、大和川へ流れていきます。

下水道は、川や海をきれいにし、衛生的で快適な生活環境を守る大切な施設です。
 斑鳩町では、平成19年4月現在、約112ヘクタールの地域で工事が終わり、利用することができます。
 水を飲み、食器を洗い、洗濯をし、お風呂に入るなど、私たち人間が生活をするためには、たくさんの水が必要ですが、どうしても水を汚すことになっていきます。
 下水道が利用できるようになると、水はどのようにしてきれいになるのでしょうか。
 今月号は、汚れた水をきれいにする下水道のしくみについてお話しします。

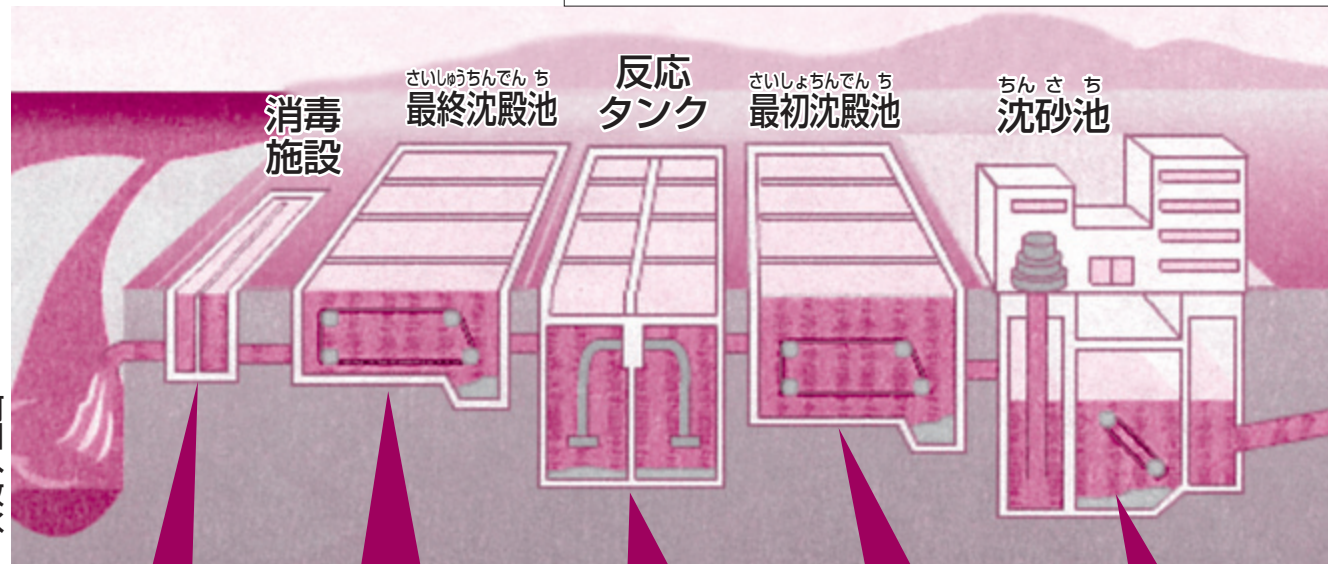


県浄化センターでさらにきれいな水へ

県の浄化センターでは、下の図のように、家庭から運ばれた汚水が、どんどんきれいな水に変身していきます。



〈浄化センター内で汚水がきれいな水になるようす〉



処理場の入り口、ここで、はじめに砂や大きなごみを落とすんだよ。

ゆっくり流れて、沈砂池でとれなかった汚れを落とすんだよ。

汚れを食べて活動する微生物がたくさん入っているタンクだよ。微生物を元気にする空気がたまっているんだ。

反応タンクでできた活性汚泥を沈めて、きれいになった水を送り出すところだよ。

最後にきれいになった水をここで消毒して川や海へもどすんだよ。

河川へ放水

(下記の図参照)

奈良県浄化センターへ運ばれた生活排水などの汚れた水は、どのようにきれいな水へと変身していくのでしょうか。
 浄化センターへ運ばれた汚水は、沈砂池、最初沈殿池、反応タンク、最終沈殿池、そして消毒設備を通してきれいな水になり、大和川へ戻されます。